

# 令和5年度 林業普及週間現地情報 (12/11～12/15)

森林管理課

## 第3回八重山林業研究会の開催

12月12日 (火)

令和5年12月12日(火)、沖縄県八重山合同庁舎において、第3回八重山林業研究会を開催し、市町職員や林業事業体職員等、会員計12名が参加した。

本庁森林管理課の担当者から「林業構造改善事業」及び「林業金融制度」について、八重山農林水産振興センターの担当者から「木材利用を見据えた造林樹種の検討」及び「有用樹種の育苗技術」について参加者らへ説明を行った。

「林業構造改善事業」に関しては、県内での事例紹介や計画から事業実施までのスケジュール等の説明を行ったところ、市町職員からはキャンプ場や苗木生産施設の整備として事業の活用を検討したいとの意見が挙がった。

「林業金融制度」に関しては、制度の概要や貸付時の留意点等の説明を行った。

「木材利用を見据えた造林樹種の検討」に関しては、令和3年度に農林水産整備課内で開催した「トマイ木工製作木皿展示会」のアンケート集計結果を報告し、注目された樹種の特徴や懸念される病害虫を紹介した。

さらに、木皿数十種類を実際に手に取って、木目や重さの違い等を感じながら、木材利用していくことを見据えて、今後の造林事業での植栽樹種を検討した。

また、市町におけるこれまでの造林事業の履歴を紹介し、収穫伐採やその後の再造林施策を提案した。

「有用樹種の育苗技術」に関しては、リュウキュウマツの苗木生産マニュアルの説明のほか、上記で挙がった樹種の播種時期や生育適地の紹介を行った。

今後も木材を利用する側からの意見も取り入れながら、造林事業の実施を検討していきたい。



研究会の様子



トマイ木工製作の木皿